

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

柴島中学校	学校	生徒数	47
-------	----	-----	----

平均値

2年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	26.26	26.44	42.30	54.07		86.24	8.33	193.85	18.58	39.19
大阪市	28.65	26.89	43.47	51.80		80.14	8.06	195.02	20.28	41.69
全国	28.95	26.09	45.12	51.64		78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
女子	20.60	23.35	53.55	49.60		47.70	9.40	155.85	9.83	45.50
大阪市	23.12	22.70	46.32	46.59		53.12	9.03	166.76	12.20	48.14
全国	23.15	21.70	46.99	45.74		50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

結果の概要

- ・体力の合計点において、全国平均より男子は3.01点、女子は2.08点低かった。男子は「握力」「長座体前屈」「50m走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」の5種目、女子は「握力」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」の5種目が全国平均下回る結果となった。「上体起こし」と「反復横とび」は、男女ともに全国平均より上回った。
- ・「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に対して、肯定的回答をした本校の生徒の割合は男子が89.9%、女子が70.0%であったが、どちらも全国平均を下回る結果となった。
- ・一週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合は、男子18.5%、女子25.0%であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度もこれまで毎時間の授業で行っている補強運動に加え、馬跳びや横移動のジャンプ、倒立などを増やし、体力の向上のための取り組みを続けてきた。しかし、2年女子は小学校で習得しておきたい馬跳びなどの基本的な動きも8割の子がいまだにできない状況である。運動に対しても積極的になれない生徒の割合も例年に比べ、高い傾向にある。

授業の中では、「できる」「できない」という技能の習得だけでなく、触れた種目が将来の生涯スポーツの選択に入るように、その種目の本来の魅力を体感できるよう授業の展開をおこなってきた。

来年度も引き続き、単元の専門的な技能だけでなく、「跳ぶ」「走る」「回る」などの基本動作の習得から取り組んでいく必要がある。また、補強運動の中で、固定化されたものだけでなく、様々な動作を取り入れ、全体的な運動能力を上げていきたい。さらには、体づくり運動の単元の授業時数をもっと増やし、遊びの中で仲間とコミュニケーションをとりながら体力の向上を目指すとともに、生涯にわたって運動に親しむ態度を養っていく必要がある。